

G910 簡易操作ガイド

- ・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- ・充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 G910 取扱説明書

各部の名称



- ・モデルによってデザインが異なります。

時刻と曜日を合わせる

この時計には、24 時間針、時針、分針、秒針で時刻を表示する時計（基本時計）のほかに、音で時刻をお知らせする副時計が内蔵されています。

1. 秒針が 0 秒を指しているときに、りゅうずの位置を ② にする

秒針が止まります。

- ・年針と月針が、副時計の時刻を表示します。年針が「時」、月針が「分」に相当します。

基本時計の時刻と曜を合わせる

2. りゅうずを回して、曜表示を合わせる

- ・時針、分針、24 時間針は連動します。
- ・時針を午後 10 時から午前 2 時の間を往復させるようにりゅうずを左右に回すと、曜表示が早く動きます。

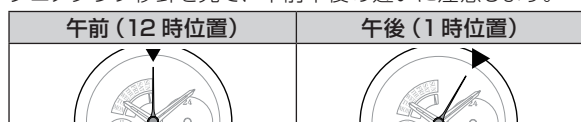
3. りゅうずを回して、基本時計の時刻を合わせる

- ・24 時間針を見て、午前午後の違いに注意します。

副時計の時刻を合わせる

4. ① ボタンまたは ② ボタンを押して、副時計の時刻を合わせる

- ・② ボタンを押すごとに月針が 1 分ずつ進み、① ボタンを押すごとに 1 分ずつ戻ります。
- ・ボタンを押し続けると、連続して動きます。
- ・副時計の時と分は連動します。
- ・クロノグラフ秒針を見て、午前午後の違いに注意します。



5. 時報に合わせて、りゅうずの位置を ① にする

秒針が動きはじめ、年針と月針がカレンダー表示に戻ります。

音で時刻を確認する

- ・クロノグラフ使用中は、音で時刻を確認できません。

1. りゅうずの位置を ① にする

2. ② ボタンを 2 秒間以上押す

高低 2 種の音で副時計の時刻を知らせます。

- ・音による時刻は、「時」、「15 分」単位の分、「1 分」単位の分の 3 つから構成されます。

- ・音の意味

高さ	長さ	意味
高い	長い	「時」
低い	長い	「1 分」
高低の組み合わせ	短い 2 音	「15 分」

- ・例：4 時 36 分の場合

	①	②	③	④	①	②	①	②	③	④	⑤	⑥
高音	♪	♪	♪	♪	♪	♪						
低音							♪	♪	♪	♪	♪	♪
時間	4 時				15 分× 2		6 分					
時刻	4 時				36 分							

音を途中で止めるには

いずれかのボタンを押します。

年、月、日を合わせる

- ・この時計のカレンダーは、うるう年を含む 2100 年 2 月 28 日まで、修正不要です。（パーペチュアルカレンダー）

- ・曜は、基本時計の時刻合わせと同時に合わせます。

1. りゅうずの位置を ① にする

2. ① ボタンまたは ② ボタンを押して、日表示を合わせる

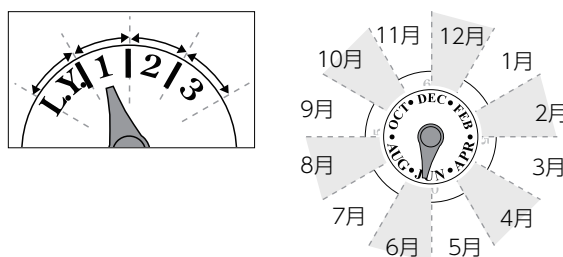
- ・② ボタンを押すごとに 1 日ずつ進み、① ボタンを押すごとに 1 日ずつ戻ります。
- ・ボタンを押し続けると、連続して動きます。

3. ③ ボタンを押して、年針と月針を合わせる

- ・③ ボタンを押すごとに、針が 1 月ずつ進みます。
- ・ボタンを押し続けると、連続して進みます。
- ・年針と月針は、連動します。
- ・年の表示は、うるう年からの経過年数で示されます。
- ・うるう年からの経過年数については、サポートページに詳しい解説があります。

うるう年からの経過年数	表示
うるう年	L.Y.
1 年目	1
2 年目	2
3 年目	3

例：うるう年から 1 年目の 6 月に合わせた年針と月針



4. りゅうずの位置を ① にして終了する

次へ続く

クロノグラフを使う

- ・ 1/4 秒単位、最大 12 時間まで使用できます。
- ・ クロノグラフ使用中も、月針と年針以外は通常に動作します。
- ・ りゅうずの位置を変えると、クロノグラフはリセットされます。

1. りゅうずの位置を [0] にする

2. © ボタンを 2 秒間以上押す

クロノグラフ秒針が一回転し、月針（クロノグラフ分針）と年針（クロノグラフ時計針）が 12 時位置に動き、クロノグラフが使えるようになります。

スタート/ストップ：ⓑ ボタンを押します。

リセット：ストップ中に、Ⓐ ボタンを押します。

スプリット計測をするには

計測中に Ⓐ ボタンを押します。

クロノグラフの各針が停止して、スプリットタイムが表示されます（計測は続いています）。

- ・ もう一度 Ⓐ ボタンを押すとスプリットタイムの表示は解除され、計測表示に戻ります。
- ・ スプリットタイム表示中に ⓑ ボタンを押すと、計測は終了します。
Ⓐ ボタンを押すと、計測終了までの総経過時間が表示されます。

計測終了後は

© ボタンを 2 秒間以上押します。

月針と年針がカレンダー表示に戻ります。

基準位置を確認する

1. りゅうずの位置を [0] にする

2. Ⓐ ボタンを 5 秒間以上押す

- ・ 年針と月針が、副時計の時刻を表示します。

3. Ⓐ ボタンを押す

年針、月針、クロノグラフ秒針、日表示の、現在の基準位置が表示されます。

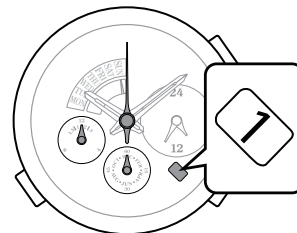
- ・ 正しい基準位置

年針：12 時位置

月針：12 時位置

クロノグラフ秒針：12 時位置

日表示：1



現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

4. いずれかのボタンを押して終了する

- ・ 何も操作をせずに 2 分間経過すると、自動でカレンダー表示に戻ります。

基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を [2] にする

秒針が止まります。

2. © ボタンを 5 秒間以上押す

年針、月針、クロノグラフ秒針、日表示の、現在の基準位置が表示されます。

3. © ボタンを押す

- ・ © ボタンを押すごとに、修正対象が次のように切り替わり、針 / 表示が少し動きます。

年針 / 月針 → クロノグラフ秒針 → 日表示 → (始めに戻る)

4. Ⓐ ボタンまたは ⓑ ボタンを押して、すべての針 / 表示を正しい基準位置に修正する

- ・ ⓑ ボタンを押すごとに針 / 表示が 1 つずつ進み、Ⓐ ボタンを押すごとに針 / 表示が 1 つずつ戻ります。

- ・ ボタンを押し続けると、連続して動きます。

- ・ 年針と月針は、連動します。

5. りゅうずの位置を [0] にする

秒針が動きはじめます。

オールリセットを行う

1. りゅうずの位置を [2] にする

2. Ⓐ ボタン、ⓑ ボタン、© ボタンを同時に押す

オールリセットが行われ、確認音が鳴ります。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせ直してください。その後、時刻とカレンダーを合わせ直してください。